

終戦70年「空襲の風景」、 「熱田と名古屋の風景」

今年には戦後70年目にあたります。この節目の年に、2つのテーマより歴史資料室で所蔵する空襲に関する資料や昔の風景を展示します。

「空襲および震災被害状況報告書」(昭和19・20年)や松坂屋名古屋店「名古屋大空襲展」(昭和48年)、中日新聞社「空襲の記録」(昭和50年)より空襲の様子と、江戸時代の句集「双尾集」の風景、「名古屋八景」(昭和3年)や「名古屋市鳥瞰図」(昭和11年)をご紹介します。

同じ「名古屋」でも、時代や状況による風景の違いが際立って感じられると思います。2つのテーマから考えることや感じる思いが、それぞれあるのではないのでしょうか。ぜひ、ご覧ください。



▲ 図解 空襲と救護



▲ 名古屋八景 其七 名港帰帆

展示替え：平成27年4月1日(水)から

開設時間：区役所開庁時間

無料 ご自由にご鑑賞ください

場所：熱田区歴史資料展示コーナー
(区役所1階)

問合せ：熱田区役所まちづくり推進室

Tel.683-9425

(福島コレクションについて)

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が30年の歳月を費やして収集された約1200点もの熱田を中心とした貴重な歴史資料(錦絵、地図等)です。昭和59年6月の熱田社会教育センター(現 熱田生涯学習センター)の開館にあたり、名古屋市(熱田社会教育センター)に寄贈されたものです。

(熱田区歴史資料展示コーナーについて)

熱田区歴史資料展示コーナーは、平成22年11月に開設し、熱田区歴史資料ボランティア(代表 周防有彦さん以下11名)の皆さんの活動により運営されています。